

## ポストドクター・キャリア開発事業

(実施期間：平成23～27年度)

実施機関：奈良女子大学（総括責任者：今岡 春樹）

### プロジェクトの概要

多くの女性のポストドクター（PD）や博士課程（後期）学生（DC）のキャリアパスを形成する上で大切な時期は、妊娠・出産・育児期と重なり、結婚・家族に関する計画と自分のキャリアパス形成の計画がぶつかったり、家庭内のストレスが学業・仕事にマイナスの影響を与えたりするなどの深刻な問題が生じている。女性のPDやDCの《キャリアの壁》の打開策として独自の「キャリア開発支援システム」を活用し、彼女達の高度な職業能力の開発とキャリアパスの形成を促進・加速する。社会で活躍するための実践的講義や長期インターンシップなどによって、PDやDCの付加価値を高め、これまでの研究活動で培った問題解決能力などを企業や団体の多様な業務で活かせる職業人に養成することを目的とする。本システムは、他大学院でも今後必要とされる「女性のPDやDCのキャリアパス多様化」に向けた先導的なモデルとなることを目指す。幅広い職種で活躍できる、実社会のニーズに即した独創的な発想力を持つ女性のPDやDCの育成に、全学を挙げて取り組む。

### (1) 評価結果

総合評価	実績等	システムの構築、運用	インターンシップ	意識改革	実施体制等	今後の進め方
S	s	s	s	a	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

### (2) 評価コメント

インターンシップの目標を達成しており、インターンシップの養成者の多くが就職もしくは起業した点も高く評価できる。今回のプログラムの中で、ライフステージに注目した最も“養成者個人の目線”で取り組んでいる大学であり、40歳以上の文系のPDを自己資金でインターンシップに出し、いずれも就職させたことは特記すべき点である。インターンシップの経験者を大学院の授業に招聘するなど、好循環も生んでいる。自己分析をベースとして、自己のキャリアを考えるきっかけを与えたことはユニークな取組である。女性PDに特化した事業であり、似たような状況に置かれた大学の模範となる取組を構築できたことも高く評価できる。

- ・**実績等**：養成者、インターンシップ派遣、就職者ともに目標を達成しており、文系の養成者が全体の3分の2を占める中での高達成率は秀逸であり、高く評価できる。全国の女性PDを積極的に募集し、多様なキャリア支援プログラムを運営し、特に丁寧なメンタリングを含めた自己分析セミナーが極めて有効であり、多くの養成者、DCを支援した。さらに、自己資金で40歳以上のPDを支援していることや長期インターンシップの事前学習期間のPDを研究員として自己資金で雇用するなど、きめ細かなサポートも高く評価できる。
- ・**システムの構築、運用**：子育て支援や心理的支援など、対象者の精緻な観察による、きめ細かい支援体制を全学の協力の下に構築し得たことは高く評価できる。企業との連携をより拡大する必要はあるが、ベンチャー企業の支援を受けたマイ・プロジェクトなど、新しい企業連携の萌芽を生みつつある。自己分析セミナーは素晴らしいアイデアと評価できる。インターンシップ派遣前の各講義・講座をDVD化、E-Learning化するなどの試みは独自のものであり、効果的である。また、女性PD特有のワークライフバランス等の問題や、意識の問題にも積極的に取り組んだことは高く評価できる。

- **インターンシップ**：長期インターンシップは当初の目標人数を達成している。その中には、自己資金で支援した40歳以上のPD3人を含むことも高く評価できる。また、企業だけでなく、各種法人など派遣先の種類は多岐にわたり、キャリアパス多様化の可能性を拡大した。4人のコーディネーターが希望者と1対1で面談し、志望理由を重視して、自己分析セミナー、企業開拓、マッチング、インターンシップ条件設定、期間中のフォロー、修了後のフォローアップ（就職を含む）まで一貫して、きめ細かい対応をしたことも高く評価できる。奈良女folioなど、クラウドを活用した情報システムによって、コーディネーターと養成者が緊密な情報交換をするなど、新しい試みを導入し効果を上げ、PDは、自己分析セミナーやインターンシップを通して、確実な意識改革の機会を得ており高く評価できる。
- **意識改革**：積極的に意識改革に取り組み、かつ、それを定量的に把握した点は評価できる。毎年度インターンシップ報告会を開催し、教員の個別訪問を行い、教員やPDの意識改革を促したことは評価できる。しかしながら、アンケートによる教員の意識は、5年間の向上は見受けられるものの、更なる改善が必要と考える。
- **実施体制等**：総括責任者のリーダーシップのもと、直属のキャリア開発支援本部を中心に男女共同参画の観点から、既存の組織と連携して事業を展開し、着実に継続可能な実施体制を構築したことは高く評価できる。配置された4名のキャリアコーディネーターが良く機能して、きめ細かくフォローしている。PDの生の声を収集し、出産や育児などの手厚い支援を整備、女性がキャリアの壁を突破する支援を行ったことも評価できる。PDの意見を汲み企画立案から交渉を重ねるなど、企業や地元機関（大学）の取り込み方に工夫が感じられ、学外並びに国外からも養成者を受け入れ、丁寧に支援したことも高く評価できる。
- **今後の進め方**：既に自己資金で予算も確保し事業の継続を決め、さらに現在進められている学外のインターンシップ推進事業にも参画するなど、積極的に業務の展開を図ろうとしていることは評価できる。今後、さらに他大学との連携を進めて、培ったノウハウを継続することを期待する。自己分析セミナーをDCや修士課程学生など前倒しに実施していることで今後の発展も十分期待できる。